

富士「Cシリーズトランスデューサ(単相位相角トランスデューサ)」は、電圧と電流の位相差を直流の電圧・電流信号に変換するとともに入・出力絶縁を行います。独自の位相弁別方式により、力率を正確に監視できます。

### ■特長

- 入力・出力間は変成器により絶縁しています。
- ケースは難燃性樹脂を使用しています。
- 端子保護カバー付です。
- 補助電源なしも製作できます。
- 接続端子はM4ねじです。

### ■仕様

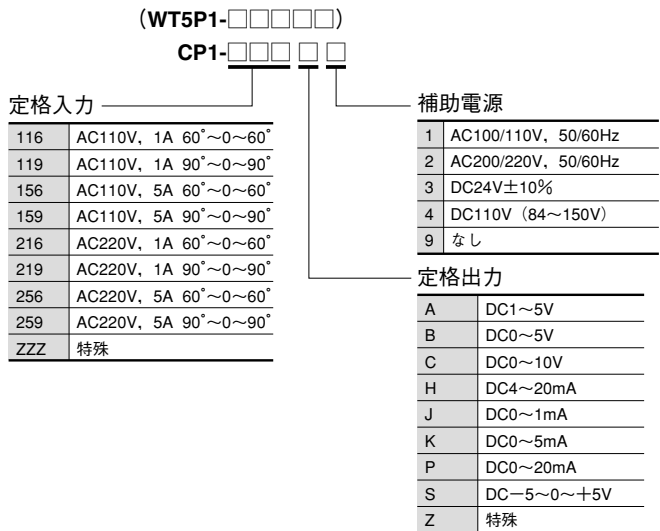
形式	CP1			
方式	位相弁別方式			
基準精度	±3.0%			
温度特性	±3%/10℃			
応答時間	0.7s以下(0→90%)			
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)			
定格周波数	50/60Hz共用			
定格入力	電圧	110V		220V
	電流	1A	5A	1A
消費VA	電圧	約0.35VA(110V)		
	電流	約0.25VA(5A)		
定格出力(負荷抵抗)	電圧(DC)	1~5V, 0~5V, -5~0~+5V, 0~10V (1kΩ以上)(1kΩ以上)(1kΩ以上)(2kΩ以上)		
	電流(DC)	4~20mA, 0~1mA, 0~5mA, 0~20mA (600Ω以下)(10kΩ以下)(2kΩ以下)(600Ω以下)		
出力調整範囲	ゼロ調整	約±3%(ただし、定格により異なる)		
	スパン調整	約±3%		
周囲温度・湿度	-10℃~+50℃, 90%RH以下(結露しないこと)			
補助電源(消費電力)	AC	100/110V, 200/220V±10% 50/60Hz(約2.2VA)		
	DC	24V±10%(約90mA) 110V(84~150V)(約30mA)		
質量	約0.5kg			

- (備考) 1. 50・60Hz以外の周波数で使用する場合は、ご相談ください。  
 2. 入力波形がひずみ波形の場合、誤差を生じることがあります。  
 3. 定格電流が1/10以下に下がった場合、力率1相当の出力としています。  
 4. 補助電源なしの場合、正常動作範囲は定格入力電圧±10%となります。この範囲を越える場合は補助電源ありの形式をご選定ください。  
 5. 電源なしの場合は、電源の消費VAが入力に加算されます。  
 6. 受電または送電用としてのみ使用できます。(潮流用では、使用できません。)



(写 No.AF02-83)

### ■形式 (=商品コード) 説明



### ■耐電圧

- 入力—出力間 AC2000V(1分間)
- 入力—電源間 AC2000V(1分間)
- 出力—電源間 AC2000V(1分間)
- 出力—ケース間(アース端子含む) AC2000V(1分間)

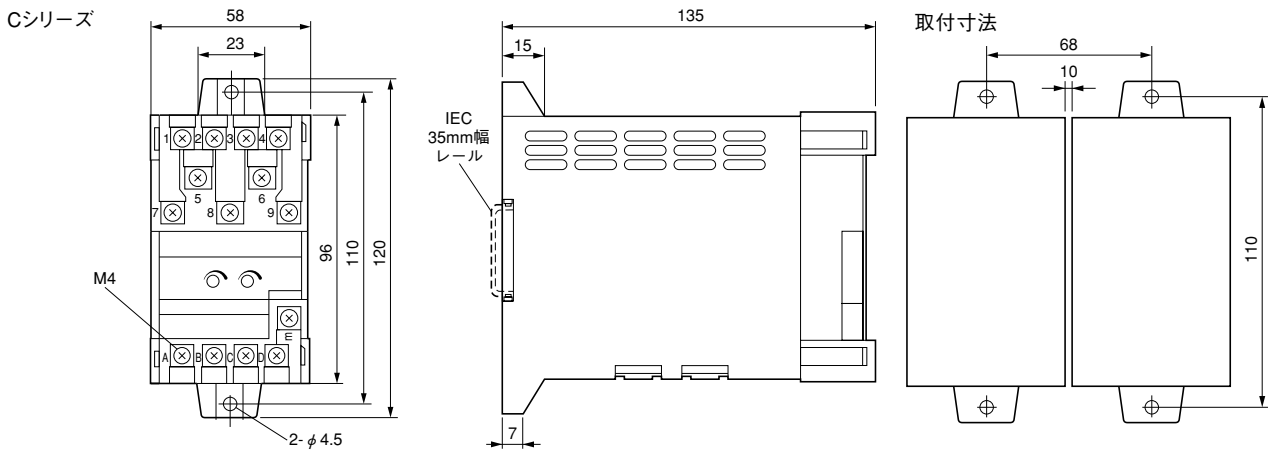
### ■瞬時過負荷

- 入力—1)電流側：定格入力の10倍(10秒間)  
 2)電圧側：定格入力の1.5倍(10秒間)
- 補助電源—定格電圧の1.5倍(10秒間)

### ■製作可能範囲

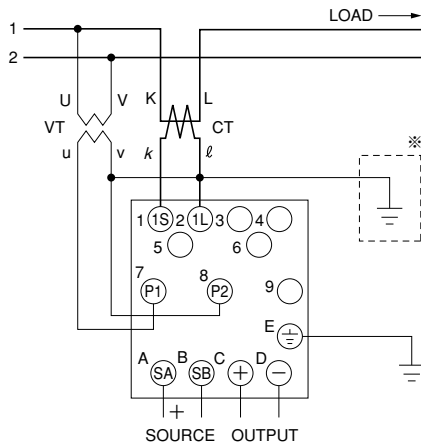
- 入力 上表・定格入力範囲
  - 出力 0~10mV以上...0~10V以下  
 0~1mA以上...0~20mA以下  
 -5~0~+5V
- (注)電流出力の土は製作できません。

## ■外形寸法図 (単位: mm)



## ■外部接続図

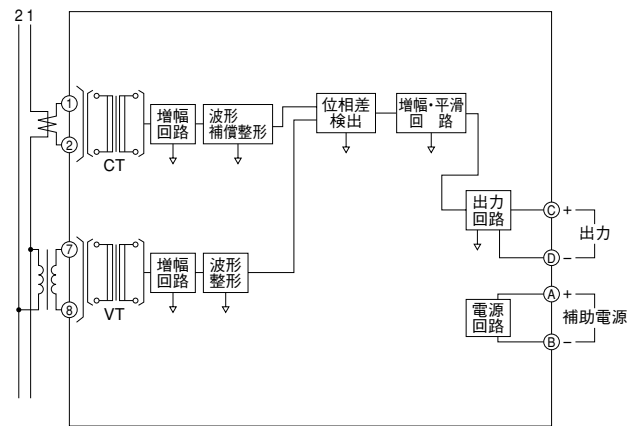
CP1形



(備考) 補助電源なしの場合、上記接続図のSOURCE: (SA), (SB) 端子はありません。  
 (注意) ※: CT・VTを使用しない場合、絶対に接地しないでください。

## ■ブロック図

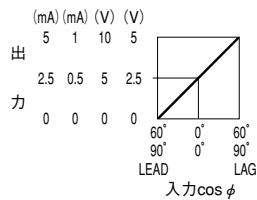
CP1形



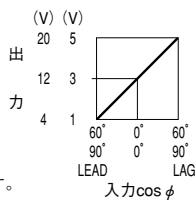
## ■入力-出力関係

位相角 (CP形)

入力	出力
LEAD LAG 60° ~ 0 ~ 60°	0~5V 0~10V
LEAD LAG 90° ~ 0 ~ 90°	0~1mA 0~5mA



入力	出力
LEAD LAG 60° ~ 0 ~ 60°	1~5V** 4~20mA**
LEAD LAG 90° ~ 0 ~ 90°	



\*\*入力力が0%未満になると出力は0Vまたは0mAまで下ります。

入力	出力
LEAD LAG 60° ~ 0 ~ 60°	-5~0~+5V
LEAD LAG 90° ~ 0 ~ 90°	

